

令和4年度 滋賀県「学校を核とした地域力強化プラン」研修会（新規導入市町等対象） 開催報告

- 1 趣旨** コミュニティ・スクールおよび地域学校協働活動を導入する（予定も含む）市町・学校の事業担当者や地域学校協働活動推進員等を対象に、事業の趣旨や運営上の留意点などを説明するとともに、具体的な体制整備に向けた手立てを学ぶ機会とする。また、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進の方策について理解を深め、普及につなげる。
- 2 主催** 滋賀県教育委員会
- 3 対象** (1) コミュニティ・スクール、地域学校協働活動を今後導入予定である、または令和4年度に導入の市町担当者、および市町立校園関係者
(2) 学校運営協議会 関係者
(3) 地域学校協働活動 関係者
(4) 県および市町の社会教育委員
(5) 地域連携担当教職員（新しく担当される方や希望者される方など）
- 4 日時** 令和4年6月7日（火） 13:30 ～ 16:30
- 5 会場** 滋賀県庁 東館7階 大会議室（大津市京町四丁目1番1号）
（新型コロナウイルス感染症に係る情勢により、オンライン参加も可とする。）

6 内容

○講演

- ・演題：「コミュニティ・スクールを創造する～めざす子どもの力がつかなければCSではない～」

・講師：高木 和久 氏

（文部科学省CSマイスター、滋賀県CSアドバイザー）

○グループ協議

- ・ミニ熟議体験「子どもの課題・改善方法・当事者として何ができるのか」
- ・情報交換



- 7 参加者数** 62名（来場26名、オンライン36名）

8 研修会の概要

（講演）

講師より、コミュニティ・スクールの意義や役割についてご教示いただいた。地域学校協働活動や学校運営協議会の基本的な役割と、両者が一体となって推進するための仕組みについて、また、陥りやすい課題についてお話しいただいた。

コミュニティ・スクールとは学校運営協議会制度を導入した学校をいう。学校運営協議会制度とは地域と学校が対等な関係を築き、一定の責任を持って学校運営に参加する合議体である。

学校運営協議会は「①学校運営に関する基本的な方針の承認をする」「②運営に関して意見を述べ

ることができる」「③教職員の採用・任用に関して意見を述べるができる」の3つの主な役割があることが、既存の類似の制度と違う。しかしこの役割が曲解されたり、十分に理解されない点があったりすることで導入に二の足を踏む現状があり、正しい理解を進めていく必要がある。

また、学校運営協議会の中心となる「熟議」の役割や効果、進め方などについて説明をいただき、「どのような子に育てたいか／育ててほしいか」というビジョンを学校と地域が共有することの大切さを説明していただいた。大人の活動そのものを主体とするのではなく、子どもの自主性・主体性を育てるという視点を大切にしたいコミュニティ・スクールにしていくべきであるとしてご指導いただいた。

(ミニ熟議体験)

ミニ熟議体験では、参加者が校種・役割別グループを作り、日々関わっている子どもたちの様子を思い浮かべながら、子どもたちの持つ課題を出し合い、「どのような力をつけてほしいのか」「そのためにどんな取り組みができるか」について語り合った。

9 参加者のアンケートより

- ・御自身がお考えになる理想と現実がかけ離れていることについて、思っているところを忌憚なく語ってくださることで、「こうあるべきだ」というメッセージがより強く伝わってきました。目指すべきビジョンをしっかりと見据えなければならぬと感じました。
- ・ボランティアの方をはじめ、地域の方と話し合う機会をしっかりと持ち、共有することが大事だと改めて感じました。また、教員も地域の方も子どももそれぞれが学校をみんなの学校ととらえることが大切だと思いました。
- ・さまざまな取組において、「子どもにどんな力をつけたいか」を意識しながら進めていく必要があることを改めて実感することができました。
- ・地域も立場も異なるメンバーで大変盛り上がり、あっという間に時間が過ぎました。思いがけない視点の意見が出てくることで、ミニ熟議自体が良い体験となりました。さらに、これまで自分が熟議だと考えていたことが不十分だということが分かりましたが、その理由にも気づけたことが大きな収穫でした。早速生かしていきたいです。
- ・子どもの良さや課題は似ているところがあり、自校の取組と重ね合わせて考えることができました。校内で連携することで満足するのではなく、地域や家庭との連携をもっと進めながら、子どもたちの見せるさまざまな表情をキャッチしていきたいと思いました。
- ・各校の課題を出し合い、その解決に向けた取組について話し合えてよかったです。中学校の現状がわかり、高校との連携を望んでおられることがわかり、今後検討していきたいです。
- ・具体的な話が多く、自校のことを頭に浮かべながら考え聴くことができました。特に、地域の子ども活動の弱点は、学校活動の弱点にもなりつつあるので、教職員全体で考えていくべき課題だと感じました。
- ・学校運営協議会をもっと活用し、意見をいただきながら地域連携に生かしたいです。地域と連携していくうえで、対価を求めずに参加し、達成感を得られるような取り組みを考えていきたいと思いました。